

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.17 2014 春号



撮影：春間 賢

- 第14回Cancer Seminar レポート
- 平成25年度Oncology Seminarレポート
- 第14回市民公開講座レポート
 - ・ ビロリ菌と胃がん
 - ・ がんの遺伝医療と遺伝カウンセリング

インフォメーション

- 第6回岡山県緩和ケア研修会
- 第15回市民公開講座



第14回Cancer Seminarレポート

2月8日(土)午後1時30分から校舎棟M702講義室において第14回Cancer Seminarを開催しました。このセミナーは地域がん診療連携拠点病院として地域の医療者向けに年2回開催しており、医科大学の中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラムインテンシブ生涯教育コースと合同で開催しています。

この日は近年稀にみる積雪でしたが50名の参加をいただきました。

今回は放射線科(治療):平塚部長のコーディネートで「病理、画像および腫瘍マーカーで分かること分からないこと」をテーマに①「日常臨床における腫瘍マーカー(CEA, CA19-9)」消化器外科:松本副部長、②「前立腺がんにおけるPSAの役割」泌尿器科:常医長、③「病理-免疫染色の診断有用性と限界」病院病理部:鹿股副部長、④「PET, CT, MRI」放射線科(画像診断):玉田副部長、⑤「超音波検査を上手に活用するコツ」内視鏡・超音波センター:今村医長が講演させていただきました。

参加いただいた方からは「すぐに業務に活かせる内容で勉強になった」「エコー検査はトレーニング・勉強を重ねる必要があるので再々参加させてほしい」等のご意見をいただきました。それらを参考にしながらまた次回のセミナーを企画したいと思います。

当日雪が降るなかご参加くださいました皆様ありがとうございました。



平成25年度Oncology Seminar レポート

オンコロジーセミナーワーキンググループ
通院治療センター 笹本 奈美

当院では、がんに関する基礎的な知識を習得したい看護師およびコ・メディカルスタッフを主な対象として、年2回、土曜日の午後、川崎医科大学附属病院がんセンターおよび中国・四国広域がんプロ養成プログラムインテンシブ生涯教育コースの共催による「Oncology Seminar」を開催しています。平成25年度は5月11日に第8回「チームで行う症状マネジメント～肺がん～」、本年2月22日に第9回「チームで行う症状マネジメント～造血器腫瘍～」というテーマでセミナーを開催しました。各回とも院内外から約60名の参加がありました。

セミナーは、テーマに精通した当院の医師・看護師が講師を務め、専門分野に関する最新の話題や事例を交えたわかりやすい講義内容となっています。セミナー後のアンケートでは、もっと専門的な講義が聴きたい、最新の話題を聴き今後に生かしたい、など多数のご意見・ご要望をいただき、回を重ねるごとに受講者のニーズが高まっていることを実感し

ています。

今回のOncology Seminarは10回目の節目ということで、外部講師をお招きし、がん化学療法看護に関する講演を予定しています。2014年秋ごろの開催に向けてワーキングメンバー一同、準備を進めています。

医療関係者の方々のご参加をお待ちしています。



第14回市民公開講座「がん治療の最近の話題」レポート

● ヘリコバクターピロリ (ピロリ菌)と胃がん

総合診療科副部長 井上 和彦

胃がん発生にピロリ菌感染、および、それに伴う胃粘膜萎縮（胃の老化現象）が強く関与していることが明らかになっています。今までの検討では、わが国における胃がん患者の99%がピロリ菌感染者あるいは感染既往者であり、ピロリ菌に感染していない人から胃がんが発生することは稀と考えられていました。また、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃マルトリリンパ腫、胃過形成性ポリープなど胃がん以外の胃の病気の発生にも強く関与しています。すなわち、ピロリ菌に感染しているかどうかにより、胃が健康的なのか、胃がんをはじめとする病気のリスクが高いのかが判断できます。また、ピロリ菌を除菌すれば、組織学的胃炎の改善に伴い、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の再発リスクが極めて低くなり、胃がん発生リスクも1/2～1/3に低下すると期待されています。2013年2月にピロリ菌診療の保険適用が拡大され、内視鏡で胃炎があることを確認すれば、国民総除菌

が可能な時代となりました。ただし、一次除菌の成功率は70～80%であり、除菌判定は必須です。また、除菌により胃がん発生リスクは低下するものの残存し、未感染者とは異なります。除菌成功後も内視鏡や胃X線検査によるサーベイランスが重要であることも忘れてはなりません。



● がんの遺伝医療と 遺伝カウンセリング

乳腺甲状腺外科部長 紅林 淳一

米国の有名女優アンジェリーナ・ジョリーさんは、2013年5月に、自身が遺伝性乳癌の保因者であり、予防的な乳房切除術と乳房再建手術を受けたことをニューヨーク・タイムズに発表しました。この話題は、世界中を駆け巡り、「乳癌が遺伝すること」、「今は遺伝検査が可能であり、乳癌の発生を予防することが可能なこと」などが一般市民に周知されました。今回行われた市民公開講座は、一般市民の皆さんに「がんの遺伝」やそれに対する「遺伝医療」の現状を知ってもらうために企画されました。前半は、臨床遺伝専門医の川崎医療福祉大学の升野光雄教授から、がんの発生において「遺伝要因」と「生活習慣・環境要因」の両方が重要な働きをしていること、「遺伝性がん」の特徴、さらに、「遺伝性乳がん」や「遺伝性大腸がん」の診療の現状に関する解説が行われました。後半は、認定遺伝カウンセラーの川崎医療福祉大学の山内泰子准教授から、「遺伝医療」を行うために欠かすことのできない「遺伝カウンセリング」に関し、その適応、内容、窓口など、具体的な事例

を交えて解説していただきました。会場の聴衆から多くの質問があり、本講演が一般市民の「遺伝医療」の啓発に役立ったことが実感されました。川崎医科大学附属病院においても「遺伝医療」をさらに発展させていく必要があることが再認識されました。



がんセンター活動予定

● 第6回岡山県緩和ケア研修会 (医師向け 要事前予約)

日時 平成26年8月30日(土) 13:30～19:30
～平成26年8月31日(日) 9:00～17:00

場所 川崎医科大学 校舎棟8階M801講義室

お申込み・お問合わせ先

川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター
〒701-0192 倉敷市松島577
TEL 086-462-1111 (内線22612)
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp

● 第15回市民公開講座がんサロン

日時 平成26年9月13日(土) 13:30～16:00

場所 川崎医科大学 8階ラウンジ

テーマ 「がん治療中を知っておきたい栄養の話」

講演① 遠藤 陽子 (川崎医科大学附属病院 栄養部 栄養主任)
講演② 山中 英治 先生 (若草第一病院 院長)

駐車場

外来駐車場をご利用ください。
(サービス券をお渡しします。)

お知らせ

本館2階の患者診療支援センター内にある「がん専門相談センター」の名称を平成26年4月から「がん相談支援センター」に変更しました。引き続きよろしくお願ひします。

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病院病理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00～19:00

場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸悪性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコル・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆様もどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30～19:00

場所 本館10階 通院治療センター

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っております。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00～19:00

場所 川崎医科大学 校舎棟7階M703講義室

Nutrition Support Team (NST) カンファレンス

毎週火曜日13:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
TEL 086-462-1111(代表)
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

直通 TEL(086)464-1567
代表 TEL(086)462-1111(内線22611-22613)
直通FAX(086)464-1166
E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp